



綴プロジェクト作品 重要文化財 楼閣山水図屏風
 曾我蕭白筆 寄贈先・原本所蔵：近江神宮

蕭白の個性が創りだす水墨の絶景。

右隻は早春の湖、中国の西湖と推定される。左隻は秋、こちらも中国の景勝地であろう。峻険な山、頂へ続く道が緻密に描きこまれる。重要文化財「楼閣山水図屏風」は、十八世紀後半の个性的な絵師として知られる曾我蕭白の作品。画題も描法も、伝統的な水墨画の流れを汲んだ山水画である。しかし、濃墨で描かれた複雑な岩、赤色を足された楼閣や紅葉、大胆な金泥の霞と、蕭白は独自の個性も加えている。幻想的で変化に富む景色は、飽きることなく、見る者を絵の奥へ奥へと引き込んでいく。

原本は滋賀県大津市の近江神宮所蔵、琵琶湖文化館に寄託されています。綴プロジェクトが制作・寄贈した高精細複製品は、現在、近江神宮で公開中です。畳に座った視線を意識して描かれた屏風絵。下から見上げ、楼閣や山の迫力を感じるなど、様々な角度から細部まで鑑賞できるのも高精細複製品だからこそ。独特の美の世界へ、人々を誘っています。

日本の美を、人へ、未来へ、伝えていく。

日本の美を継承していくために Vol.15

綴プロジェクト作品（高精細複製品）

◆重要文化財◆

「楼閣山水図屏風」 曾我蕭白筆

綴TSUZURI
 文化財未来継承プロジェクト

「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの文化財の保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。海外に渡った文化財を高精細複製品として、日本に「里帰り」させているほか、綴プロジェクトで制作した作品38作品は、寄贈先の美術館や寺院などでの一般公開や、歴史教育の現場で生きた教材として、日本の優れた文化や芸術に、より身近に接する機会を提供しています。



詳細は、公式サイト
 でご覧いただけます。
global.canon/ja/tsuzuri

公開情報

綴プロジェクト作品・楼閣山水図屏風は近江神宮時計館宝物館にて片隻ずつ公開中です。

